

# 世界陸上・デフリンピック ビジョン2025 アクションブック (概要版)

- ◆世界陸上・デフリンピックのような国際スポーツ大会は、子供たちの夢と希望の育み、ウェルネスの向上、共生社会に向けた歩みの加速など、**大きな価値**をもたらします。
- ◆こうした意義を持つ両大会に向けて、**スポーツの力で東京の新たな未来を切り拓いていく**ため、令和5年2月に、両大会を通じて都が目指す姿を「ビジョン2025」としてまとめました。
- ◆本書は、この「ビジョン2025」で掲げた「**全ての人**が輝く**インクルーシブな街・東京**」の**実現に貢献**するという目標に向かって、両大会を通じて取り組んでいく方向性や、主な内容などをまとめた指針となります。

## アクションブックのポイント

### 3つのConcept

- ◆**東京2020大会のレガシー**を継承・発展
- ◆両大会一体となって  
**ウェルネスの向上や社会変革**を推進
- ◆2025年を機に、東京に**新たなレガシー**を創出



## Sports プロジェクト – 両大会を機にウェルネスを向上

【スポーツの価値を再認識】 – 推しスポーツProjectの展開

+

## 10のAction – 両大会を社会変革の推進力に

【みんなが つながる】 – ユニバーサルコミュニケーションの促進

- ①大事な情報、伝える工夫 ②デジタルで拓く東京の未来

【世界の人々が 出会う】 – 「TOKYO」の魅力発信

- ③芸術文化に触れ、感じる ④世界に東京の魅力をPR

【こどもたちが 夢をみる】 – 子供たちの大会への参画

- ⑤2025 for キッズ ⑥2025 with キッズ

【未来へ つなぐ】 – 持続可能性の取組

- ⑦みんなで守る、みんなの環境 ⑧共に生きる未来を創る

【みんなで 創る】 – 力を合わせて大会を形作る

- ⑨Make it together 2025 ⑩知って、楽しんで、応援しよう！

# Sportsプロジェクトの概要

TOKYO FORWARD 2025

## 推しスポーツ Project

- ◆両大会は、スポーツへの関心を高め、**スポーツの価値を再認識**する好機
- ◆東京全体をフィールドとして、様々なスポーツに親しむ機会を創出
- ◆スポーツの魅力に触れる中で、各人の好みや特性に合った「**推しスポーツ**」を発見

### 「推しスポーツ」の発見・実施を後押しする 3つの取組

#### 《東京スポーツドック》

体力診断で自身の体力や健康状態を知ってもらい、適性に沿った運動計画などを提供

#### 《Let's play it ! 》

プロスポーツチームや区市町村などと連携し、一人ひとりにとって「初めての競技体験」への参加を支援

#### 《キッズアスリートプログラム》

陸上トップアスリートなどとの交流や、子供（親子）向け陸上教室などを展開

# 10のActionの主な内容

「ビジョン2025」における5つの柱の下に、様々なActionを設定

## みんなが つながる

- ①東京2020大会で使用された技術の活用や、**都立スポーツ施設のアクセシビリティ設備整備**を推進
- ②民間企業等と連携した**技術開発**などユニバーサルコミュニケーション（UC）技術の社会実装を促進



## 世界の 人々が 出会う

- ③2025年に向けた**アートプロジェクトの展開**や、**芸術文化へのアクセシビリティ向上**への取組を実施
- ④大会関連イベントでの**東京産食材の活用**や、大会1年前の機を捉えた**観光プロモーション**を展開



## 子ども たちが 夢をみる

- ⑤アスリートと子供の交流会や、手話通訳士などを招いた**特別支援学校での特別授業**を実施
- ⑥大会ロゴや大会エンブレムの**デザイン**、選手入場時の**エスコートキッズ**など大会に子供たちが参画



## 未来へ つなぐ

- ⑦**省エネの徹底**、**再生可能エネルギーの活用**及び**3Rの取組**に加え、**大会の暑さ対策**に向けた調査などを実施
- ⑧東京2025デフリンピック応援**アンバサダー**や、**デフリンピック学習ハンドブック**を通じ、共生社会の大切さを発信

## みんな で 創る

- ⑨多様な人が**ボランティア**として活躍できる機会の提供や**デフアスリートへの支援**などを通じ、様々な人と一緒に大会を創っていく
- ⑩大会1年前の節目の**気運醸成イベント**や**パラスポーツの振興とバリアフリー推進**に向けた懇談会と連携し、大会への関心を喚起

### 参考

これらのうち、大会に向けて都が全庁を挙げて連携し、重点的に取り組む事業費（大会連携事業費）の令和6年度分は、約23億円となります。  
<主な事業>大会気運の醸成、UCの促進、2025年に向けた文化プログラム、大会を通じた東京の魅力発信、代々木公園陸上競技場の改修 など